

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本の歌謡 B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文 2 回生 文学部英米 2 回生 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">佐々木 聖佳</p>
<p>授業テーマ</p> <p>歌の力</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>この講義では、前期「日本の歌謡A」に引き続き、国文学の立場から、日本に古代から伝わる歌について講じる。多くの人の心をとらえ口ずさまれてきた歌謡には、その時代の人々の感情や感覚が文芸として昇華された、優れたものが多い。詞章面からそのよさ、おもしろさを味わい、現代にも通じる歌の力について考えていく。</p> <p>「日本の歌謡 B」では、室町時代から近代、現代にかけての歌謡をとりあげる。なお、授業は前期の「日本の歌謡 A」の受講を前提に進める。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席、レポート、毎時限に課す課題の内容、授業態度から総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>毎時間プリントを配布して講じる。なお、この講義は古典文学の授業であるので、多くの古文を読むことになる。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて、授業の中で提示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作詞 2 狂言歌謡① 狂言の世界 1 3 狂言歌謡② 狂言の世界 2 4 狂言歌謡③ 「鞆猿」と流行歌 5 狂言歌謡④ 「棒縛」の酒宴歌 6 室町小歌① 室町小歌とその時代 7 室町小歌② 『閑吟集』の歌 1 8 室町小歌③ 『閑吟集』の歌 2 9 室町小歌④ 『閑吟集』の歌 3 10 子供の歌① 子守唄 1 11 子供の歌② 子守唄 2 12 子供の歌③ 近代唱歌 13 替え歌 14 世界の中の日本の歌 15 歌の力 		